

オイルドレン上抜き兼用 取扱説明書

【品番】 OD-80

この度は、KIKAIYA「オイルドレン上抜き兼用」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* この取扱説明書は、商品の正しい使い方、使用上の注意について記載しております。

* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しくお使いください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■ 開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら 7 日以内に必ず開封して中身/動作をご確認ください。

■ 調査及び修理をご依頼の前に

- * 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。
改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。
- * 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

(本書記載内容は、改良のため予告なく変更する事があります)

■ 注意事項

- 本製品を本書に記載されていない他の用途には使用しないでください。
- 本製品をお取り扱いの際は ANSI 規格の安全ゴーグルを着用してください。
- パイプやアダプターからエアやオイルの漏れがないかご確認ください。
- エアコンプレッサーを接続する前に、すべてのバルブ閉じられている、スイッチがオフになっていることをご確認ください。
- 各最大エア圧力を超えないようにご使用ください。(オイル上抜き時/0.8Mpa ・ 廃油排出時/0.1Mpa)
- 抜き取りの際のエンジンオイルの適温は、40~60℃です。
- 抜き取ったエンジンオイルは適切な方法で処分、またはリサイクルしてください。
- 古いエンジンオイルは絶対に再利用しないでください。

■仕様・状態

| | |
|-----------|---|
| 本 体 重 量 | 20.9kg |
| タ ン ク 容 量 | (上)透明タンク／10リットル (下)オイルタンク／最大 70 リットル |
| 抜き取りオイル適温 | 40～60℃ |
| 使用エア圧力 | 0.6～0.8Mpa |

※本商品はすべての車種には対応できません。

オイルレベルパイプに吸い込みチューブが入らない車種もございます。

【使用可能】潤滑油、ギヤ油、作動油、非腐食性の液体

【使用不可】ガソリン、ブレーキ液、腐食性の液体、オイル添加剤など 揮発性の高い液体

■組立て方法

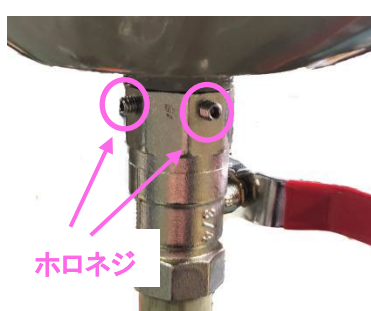
下抜き用受け皿の**排出パイプ**を本体タンク(赤色)から引き出す



気温が低いと固くなっている場合もございます。
その場合は**少し力を入れて引き出してください。**

A 下抜き受け皿取付

- ① ホロネジ 2ヶ所を緩める
(六角レンチ 3mm)
- ② ドレン受け皿を奥まではめ込む
- ③ ホロネジを締める



B 透明タンク取付

- ① ホロネジを 2カ所緩める
(六角レンチ 3mm)
- ② 透明タンクを奥まで取付ける
- ③ ホロネジを締める

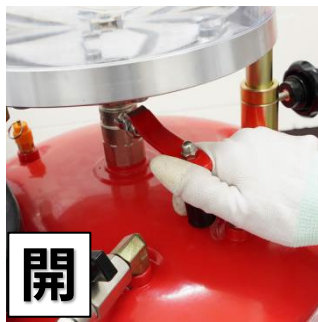


■オイル上抜き要領



①
始めに、上タンクのカップ(安全弁)がしっかりとハマっている事をご確認ください。
※カップがハマっていないと、負圧(真空)にならず、吸い込みません。ご注意ください。

負圧にするには、油や水などの不純物がフィルターによって除去されているエアが必要です。



②
透明オイルタンク下のバルブを必ず閉じてください。
※右写真が閉じた状態です。



③
適切なオイル抜き取りチューブをプローブに取付けます。
プローブのバルブ(黒いハンドル)は閉じてください。

④
オイルレベルパイプにチューブを挿入します。
エンジンのドレンタンク底まで届く様にセットしてください。

| | |
|--|---|
|  | <p>⑤ 上タンク(透明)上部のエアークラ にエアーを接続します。エアーが流 れバキュームゲージの針が動きま す。</p> |
|  | <p>⑥ プローブのバルブを開いてエンジン オイルを吸い込んでください。 吸い込み後はバルブを閉じてくださ い。</p> |

【メモ】

透明オイルタンクに溜まった廃油は量と汚れを確認したら透明オイルタンク下のバルブを開いてオイルをオイルタンクに落とします。(下タンクのバルブは全て閉じる)

【注意】

★オイルは熱で膨張する可能性があるため、透明タンクの赤いライン(停止警告線)を超えないようにしてください。

★オイル抜き取り時に透明タンク内で飛び散ったオイルがサイレンサーよりにじみ出て、周囲に飛び散る可能性があります。サイレンサーにウエスなどを巻いてオイルが飛び散らないようにしてください。

■オイル下抜き要領

- ① 全てのバルブを閉じます。
- ② オイル受け皿を持ち上げ、スライドパイプ流入バルブを開けます。
- ③ リフトアップされた車両下よりオイルを受け下タンクへ廃油をおとします。
- ④ 使用後は流入バルブを閉じます。

 下タンク横にあるレベルゲージを確認し、一杯になる前に廃油を排出してください。

■廃油排出方法 (オイルタンクに溜まった廃油を排出します)

(注意)バルブを全開にするとオイルが勢いよく出て飛び散る場合がありますのでご注意ください。



全てのバルブを閉じてください。

①
透明タンク下/受け皿下/プローブ用/
タンクエア用/廃油排出用の**全5箇所のバルブを必ず全て閉じてください。**

★透明タンク下のバルブが開いた状態で使用すると空気圧がかかり、タンクが破損して怪我をする可能性があります。

※写真が閉じた状態です。



②
廃油を移すタンクに廃油排出プローブをセットします。
※手で確実に押さえてください。



③
タンク下部の廃油排出バルブを開きます。



④
タンクにエアーを接続してバルブを**少しだけ**開きます。
エアー圧力は 0.07Mpa に設定してください。最大圧力 0.1Mpa を超えないようにしてください。

タンクにエアーが入り廃油がホースより排出されます。
排出される勢いと量を確認しながらエアーバルブを調整してください。

★次回使用時には、必ずタンク内の残留圧縮空気を排出してください。